

あ と が き



社団法人 岡山県畜産会
専務理事 岩井 敏一

畜産物の輸入自由化という極めて険しい現今の国際的経済情勢のなかであって、畜産の将来には多くのむずかしい課題が山積しておりますが、かつて明治、大正、昭和と岡山県の畜産が幾度となく繰り返し、直面した危機、不況等時代の変遷に対して当時の先輩たちが、これにどう対応し、そしてつぎの飛躍に対してどう対処してきたかを究め、その歩んできた技術的、政策的諸対策が当時の畜産にどう位置づけられたかを知ることは、混沌として不安拭いやらぬ今日の情勢において今後の方向づけをする上から重要な意義があるものと存じます。

今回先輩浅羽昌次氏の努力により明治初年から大正、昭和年代に至る本県畜産発展の過程を各種の資料に基づき克明に取り纏められたものをもとに、岡山県畜産年表として発刊でき本県畜産の年代別発展過程の具体的経過について時代的背景を一表に明かにすることができましたことは、畜産の歴史を繙くうえで大変意義があると存じます。

終わりに、本年表作成に当って貴重な資料を整理、取り纏められた浅羽氏の労に対し衷心より謝意を表するとともに出版にあたり種々ご協力、ご協賛いただきました関係各位に対し厚くお礼を申し上げます。